

大学図書館職員短期研修

1. 目的

大学図書館等の活動を活性化するため、大学図書館等の職員が、今後の図書館の企画・活動を担う要員となる上で必要な、図書館業務の基礎知識・最新知識を修得する。

2. 到達目標

国内外の大学図書館等における最新の動向や事例を学び、図書館業務の推進および改善について、主体的に考えることができるようになる。

3. 受講対象者

以下の条件をすべて満たす者を対象とする。

(1) 所属機関

大学等（大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関法人、大学校、文部科学省所管独立行政法人および施設等機関）。

(2) 勤務形態

現在、大学等から直接雇用されて図書館等に勤務し、また受講後も一定期間の図書館勤務を予定している職員。

(3) 年齢

2019年4月1日現在の年齢が35歳以下であること。

ただし、応募状況により36歳以上の職員の受講も可とすることがある。

(4) 勤務年数

2019年4月1日現在、大学等での図書館勤務年数が2年以上10年以下であること。

ただし、応募状況により、勤務年数が10年を超える職員の受講も可とすることがある。

なお、現所属機関の勤務以前に、受講条件(1)(2)を満たす勤務年数がある場合は、通算してもよい。

※ 過去に大学図書館職員短期研修（平成18年度までの旧称「大学図書館職員講習会」も含む）を受講したことがある者は原則として受講対象としない。

4. 受講の前提となる知識

図書館業務の概要を把握していること。

5. 開催会場・開催期間等

開催会場	開催日時		申込締切日	定員
京都 (京都大学附属図書館)	2019.10.1(火)～ 10.4(金)	第1～3日 9:30～17:30	2019. 7.19(金)	各回 42名
東京 (国立情報学研究所)	2019.10.8(火)～ 10.11(金)	第4日 9:30～17:00		

主催機関：〔京都会場〕京都大学附属図書館
〔東京会場〕東京大学附属図書館

6. 主な研修内容（予定）

- 大学図書館の現状と課題
- 大学図書館における各種業務・サービスの最新動向
- 国立情報学研究所の学術コンテンツ事業
- 海外研修事例報告
- グループ討議、成果発表

参考：2018年度大学図書館職員短期研修カリキュラム

<https://www.nii.ac.jp/hrd/ja/librarian/h30/index.html>

7. 受講の申込みと受講者の決定

受講希望者の所属機関が、研修申込システムから申込みを行う。京都大学及び東京大学は、推薦された者の中から受講者を選考し、各所属機関の長または所属部局の長に対して結果を通知する。

※申込み手順の詳細は、『研修申込システム利用手順』を参照。

8. 経費

研修費および教材費	無料
旅費	所属機関の負担

9. 修了証書

この研修において所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

10. 研修概要ウェブサイト

〔京都会場〕 <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/mainlib/tanken/>

〔東京会場〕 <https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/tanken>